

況を見通し、将来に向けて持続可能な財政運営を目的として策定するものとのこと。

第10回委員会では「高浜小学校等整備事業基本計画について」の説明がありました。整備事業全体スケジュールは平成28年1月に市場調査を実施。2月に基本計画の資料を公表。基本計画を基に作成する実施方針（案）及び要求水準書（案）を3月17日開催の特別委員会に諮り、3月末を目途に公表したい。この間に、資料の説明及び現地の視察を兼ねた現地説明会の開催を予定している。

第11回委員会では「高浜市公共施設総合管理計画について」説明がありました。内容は長期財政計画に関するパブリックコメントを2月16日から3月1日までの2週間実施し、9名から36件の意見がありました。次に「高浜小学校等整備事業について」の、整備事業の基本計画を踏まえた本事業の実施方針案及び要求水準案の主な点の説明がありました。事業方式は市場調査の結果に基づきPFIの中のBTO方式とし、民間事業者が施設の設計・建設を行い、本市に所有権を設定した後、事業期間中の維持管理業務を遂行する方式で実施する。事業期間は、事業契約締結から平成46年3月31日までとし、事業期間終了後は市が維持管理する。事業者の選定方法はPFI法第8条第1項の規定で公募によるとされており、総合評価一般競争入札方式によることが原則とされている。要求水準書案では、景観性で「校舎棟等に瓦など地場製品の採用を積極的に図ること」を明記。防災安全計画では安全性の確保として、地震等の自然災害発生時や非常時における安全性の高い施設として、メイン及びサブアリーナは、災害発生時に地域の拠点となる避難所としての利用を前提として計画する。保安警備の充実では、児童の安全にかかるセキュリティーについて、日中の不審者対策や夜間等の不法侵入を防止するなど、施設の保安管理に留意した計画とし、施錠装置は全室に設けることを求めている。

## 議会改革特別委員会 中間報告

### (1) 広聴会の開催

原則は議会報告会とセットでやらせてもらっている。3月定例会後は、3月定例会のことを問われる可能性が十分にある。公共施設であれば、特別委員会を持っているので、その報告会になりはしないか。それも含めて、5月14日

日程調整とテーマ選定を広報・広聴委員会にお願いしたい。

### (2) 今期の検討テーマ

議会のICT化・タブレット化を勉強会のような形で検討してきている。近隣では安城市もこの仕組みを入れている。議員に理解をいただくために、委員会メンバーの一人に先進地（逗子市、大津市）の事例を動画等で紹介いただいた。資料を本棚に取りに行くようなものだがということが、用語等とともに説明された。目的は議会運営の効率化、業務負担軽減、ペーパーレス化による費用削減、市民に開かれた議会の実現の一環等であり、テーマとしてきた。現状が結果的にどう変わり、その検証がいつあるかで、初めて投資する意味がある。また、必ずバージョンアップの問題がある。具体的にどこまでやるか検討するため、情報収集をしていきたい。当局に議会の検討内容を伝え、どこまで踏み込んで議論していくかがスタートラインになる。引き続き検討する。

### (3) 代表質問制導入について

代表質問について検討してきたが、一般質問で同じような答弁が続く懸念はあるが、議員がやりたいものが制限されるなどのデメリットもある。必要性を感じないので、現状のままでいいのではないかな等の意見が出された。総意が得られないのであれば、改めてまた調査研究をし、有効と認めたら再び取り上げていくこととする。

### (4) 大規模災害が発生したときの議会の対応

災害が起きた後に議会が何をすべきか、復興・復旧に向けて何をすべきかは、どこでも議論はできる。想定を連ねて相手ごとにまとめ、どうするかということ、具体的なことをまとめた上で議論したい。時間はないが、この委員会には各党派が所属している。時間をかけて会派で考えていただき、業務継続計画は碧南市等の例を参考に考えていただきたい。議会として議論したほうが、実効性も伴っていく。災害が起きたシミュレーションの中で、申し合わせて計画に入れたいことを選んで組み立てるつもりであり、継続して議論していきたい。

各委員会報告については主な内容を掲載しましたが、紙面の都合上3月議会にかかるものであり、1年分をまとめたものではありません。会議録は市議会のホームページをご覧ください。